

知りたい！気になる！

**継続募集中！**

# LGBTQ+のこと

～シゲ先生と一緒に考えてみよう～

日常の様々な場面で「LGBTQ+」という言葉を見聞きするようになりました。

性はすべての人に関係するものであり、そのあり方は一人ひとり異なります。

誰かと性について話すことは恥ずかしいことでもなく、

「これが普通だ！」と答えを見つけることでもありません。

もっと気軽に、多様な性について一緒に考えてみませんか？



講 師

すずき しげよし

鈴木 茂義 さん

プライドハウス東京レガシースタッフ  
上智大学基盤教育センター非常勤講師  
自治体の相談員  
元公立小学校主任教諭

常設のLGBTQ+センター「プライドハウス東京レガシー」の理事・スタッフ。

専門は特別支援教育、教育相談、教育カウンセリングなど。

1978年茨城県生まれ。文教大学教育学部卒業。

教員20年の小学校教諭を経て現在に至る。教育研究会や教育センターでの講師経験も多い。

LGBTQ+や教育に関する講演活動を行い、

性の多様性やより良い「生き方」「在り方」について参加者と共に考えている。

日 時 令和4年7月29日（金）午後3時～5時

会 場 武蔵野プレイス 3階スペースC

対 象 中学生以上の青少年 20歳になった年の年度末までの方

定 員 15名

**定員に達するまで  
先着受付中！**

武蔵野プレイス  
HP



参加費  
**無 料**

# 6月は『プライド月間』です

「プライド（Pride）」という単語は、英語の一般名詞で、「誇り・矜持」を意味しますが、それだけではなく、「セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）のパレード」を指すものとして、広く国際的に認知されています（パレード前後のイベントを含めた総称として使われることもあります）。6月が「プライド・マンス（プライド月間）」と呼ばれている背景には、1969年6月28日、ニューヨークのグリニッジ・ヴィレッジ地区にある「ストーンウォール・イン（Stonewall Inn）」というゲイバーで起こった警察官とゲイたちの暴動「ストーンウォール事件」が関わっています。この暴動はその後のゲイ解放運動、セクシュアル・マイノリティの人権運動へとつながっていき転換点として、その名を歴史に残すことになりました。

事件の翌年、1970年6月の最終日曜日には「ストーンウォール事件」の1周年を記念するデモ行進がニューヨークをはじめアメリカ各地で行われました。その後、世界中に広がり、毎年6月を中心に世界各地でプライド・パレードが開催されています。

引用・参考：特定非営利活動法人 東京レインボープライドHP

## 応募方法

下記、**参加申込書①～⑥**の内容を記入のうえ、いずれかの方法でお申し込みください。

■メール [gr-youth@musashino.or.jp](mailto:gr-youth@musashino.or.jp)

メールでのお申し込みは**こちらから▶**



■窓 口 武蔵野プレイス地下2階スタジオ受付に**参加申込書**を持参 **※水曜休館**

## お問合せ

武蔵野プレイス 青少年活動支援係 （0422-30-1902）

- ・新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、中止となる可能性があります。その場合は武蔵野プレイスHP等でお知らせします。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、開催当日は検温、手指消毒、マスク着用、講座参加チェックシートの記入にご協力をお願いいたします。

## 知りたい！気になる！LGBTQ+のこと～シゲ先生と一緒に考えてみよう～ 参加申込書

（フリガナ）

- ①氏 名 [ ] ②年齢・生年月日[ 歳 年 月 日]
- ③住 所 [ ]
- ④メールアドレス[ ] ⑤電話番号 [ ]
- ⑥在学・在勤先 （中学生・高校生・大学生・専門学生・その他）[ ]

※二重線枠内事務欄記入不要

お申込みいただいた個人情報は、武蔵野文化生涯学習事業団が主催する講座の実施・運営に必要な範囲内で使用いたします。それ以外の目的で使用することはありません。

受付者(日付も記入)	送受信